

総務財政委員会議事録

1. 日 時 令和3年1月26日(火) 午前11時～
2. 場 所 日田商工会館 議員サロン
3. 出席者名 ・会 頭：十時 康裕 ・担当副会頭：赤尾 重信
・正副委員長：小ヶ内聡行、園田 匠
・委 員：梶原 善人、横山 俊英、高倉 貴子
・事 務 局：樋口 恒成、野依 義明、伊藤 宏、大石 昭典
4. 議 題
 - (1)令和2年度当委員会事業報告について
 - ・視察研修（事業運営・商工会館建設等）
 - ・会員増強
 - (2)令和2年度各委員会事業及び予算執行状況について
 - (3)令和3年度各委員会事業及び予算要求について
 - (4)令和3年度当委員会事業・予算について
5. 諸会議の日程について
 - ・正副委員長会議 2月 4日(木) 13:30～ 商工会館
 - ・定例常議員会 2月 8日(月) 11:00～ 商工会館

6. 議事概要

定刻となり、事務局より開会。小ヶ内委員長の挨拶後、委員長が議長となり議事を進行。

まず、令和2年度委員会事業について委員長より、コロナ感染拡大の影響により視察研修を中止したこと、また会員増強についても思ったほど動きがとれず、会員獲得目標に至らなかった旨報告。

委員長：本年度事業のなかで、特に会員増強キャンペーンについて先月末現在22件獲得できているが、目標達成には至っていない。表彰対象となる委員会はない状況であり、引き続き会員増強は次年度も委員会事業として取り組んでいきたい。なお、本年度獲得していただいている委員会もあるので、獲得件数については次年度へ繰越して反映させたい。

続いて、令和2年度各委員会事業及び予算執行状況について、事務局より説明。

高倉委員：地域開発委員会の地域振興事業について、どんなアンケート内容なのか。

事務局：本年度委員会活動が行われておらず、次年度に同じ事業案が提案されていることから、今後実施に向けて協議していくこととなる。

高倉委員：各委員会ともセミナーが開催されていないが、コロナ禍での対応策としてリモートであったり開催方法も検討すべきではないか。

事務局：先日、相談所事業においてセミナー（講師：東京）をリモートにて開催した。コロナ禍における会議やセミナー等の開催方法について、今後も検討していく旨説明。

委員長：各委員会ともコロナ禍において、事業実施に至っていない状況にあり、当初予算の大幅な減額が想定される。3月の委員会において、委員会活動事業費を含め補正予算について協議

願いたい。

令和3年度各委員会事業及び予算要求について、各委員会から提出された資料に基づき説明。

委員長：各委員会とも本年度事業を引き続き提案している状況にもあり、委員会活動事業費の総額は本年度とあまり変わらないため、総務財政委員会としては各委員会の予算要求額どおり承認でよろしいでしょうか。

事務局：あくまでも、コロナ終息を仮定した事業提案であり、コロナ感染状況によっては本年度同様に事業の見直しもありえます。

委員長、質疑がないか諮るに、異議なく承認される。

令和3年度当委員会事業・予算について、事務局より説明。

委員長：本年度に引き続き、総務財政委員会事業として視察研修と財政基盤強化の2つの事業を提案したい。

委員長、質疑がないか諮るに、異議なく承認される。

次回委員会の開催について、3月9日（火）午前10時とし、その後情報交換を行い会議を閉会。